

環境関連データ

国内外環境負荷データ(2016年度)

事業場数	生産量	温室効果ガス			水資源		産業廃棄物		国内化学物質		水域排出の環境負荷			大気排出の環境負荷		
		排出量 (CO ₂ 換算)	原単位	取水	原単位	最終 処分量	原単位	PRTR法の対 象化学物質	原単位	BOD	CODMn	SS	SO _x (SO ₂ 換算)	NO _x (NO ₂ 換算)	ばいじん	
		千t	CO ₂ -t/ 生産量t	千m ³	取水量m ³ / 生産量t	有容t	処分量kg/ 生産量t	排出量・ 移動量 t	排出・移動量 g/生産量t	t	t	t	t	t	t	
産業資材事業	167	6,255	3,006	0.481	190,902	40	15,238	13	221	444	3,120	3,771	2,313	2,472	3,032	101
生活消費財事業	5	194	39	0.20	4,350	50	96	3	(*)	(*)	(*)	256	49	26	13	1
機能材事業	30	796	668	0.839	60,689	119	2,726	38	704	1,243	1,264	180	971	962	518	87
資源循環ビジネス	36	3,739	377	0.10	65,131	42	34,279	3	<1	<1	2,144	11,525	644	282	281	1,643
印刷情報メディア事業	9	3,554	3,033	0.853	364,800	164	25,621	66	114	18	900	18,059	9,281	3,302	6,064	243
その他事業	45	1,158	481	0.416	55,949	27	65,020	6	14	669	1,012	<1	1,805	12	617	773
合 計 (通称子会社)	292	15,697	7,605	0.484	741,821	47	142,980	9.1	842	85	8,504	34,719	14,643	7,107	11,092	2,120

- ・生産量はグループ内の取引量を含む。
- ・温室効果ガス排出量は、以下の条件にて算定。
① 以下の法律、国際基準の排出係数を使用。
【国内】エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)、地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)
【海外】Greenhouse Gas Protocol "Emission Factors from Cross-Sector Tools"
② 製品の輸送に係る排出量は含まない。
- ・水域排出の環境負荷(BOD、COD、SS)と大気排出の環境負荷(SO_x、NO_x、ばいじん)は、規制が適用されている事業場からの排出量を掲載。
注記) *1 規制が適用されている事業場がないため、排出量の掲載なし。

環境負荷物質排出量の推移

温室効果ガス(CO₂換算)排出量



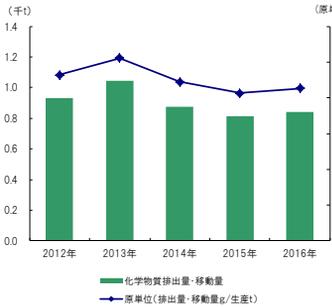
取水



産業廃棄物最終処分量



化学物質(PTRR法対象)排出量・移動量

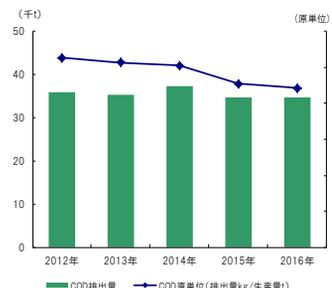


水域排出の環境負荷推移

BOD排出量



COD排出量



SS排出量



大気排出の環境負荷推移

②硫酸酸化物(SO_x)排出量



③窒素酸化物(NO_x)排出量



④ばいじん排出量



■国内PRTR法の対象化学物質の排出量・移動量(2016年度)

物質名	単位	取扱量 (発生量含む)	排出量	移動量	合計 (排出量・移動量)
亜鉛の水溶性化合物	t	8.5	0.2	0.9	1.1
アクリル酸ノルマルブチル	t	2.5	0.2	0.1	0.3
2-アミノエタノール	t	15.2	0.002	0.2	0.2
石綿	t	8.0	-	7.9	7.9
イソプレン	t	9.9	0.1	-	0.1
エチルベンゼン	t	4.8	0.02	0.1	0.2
エチレンオキシド	t	1.5	0.01	-	0.01
塩化第二鉄	t	94.1	-	-	-
キシレン	t	66.5	0.6	0.6	1.2
クロム及び三価クロム化合物	t	20.8	0.01	0.001	0.01
クロロホルム	t	13.3	13.3	-	13.3
酢酸ビニル	t	491.7	1.3	0.5	1.8
シクロヘキシルアミン	t	1.5	1.5	-	1.5
2,2-ジプロモ-2-シアノアセトアミド	t	51.7	20.6	0.2	20.8
N,N-ジメチルアセトアミド	t	9.3	0.7	0.5	1.2
スチレン	t	98.7	0.02	0.2	0.2
ダイオキシン類	g-TEQ	1.6	0.1	1.5	1.6
デカン酸	t	10.7	0.1	-	0.1
ドデシル硫酸ナトリウム	t	3.7	2.2	-	2.2
1,2,4-トリメチルベンゼン	t	40.7	0.2	0.01	0.2
トルエン	t	2868.9	557.6	173.6	731.2
鉛	t	2.1	-	2.1	2.1
二アクリル酸ヘキサメチレン	t	2.7	-	-	-
ニッケル	t	15.9	0.02	0.001	0.02
フェノール	t	5.6	0.01	0.2	0.2
ふっ化水素及びその水溶性塩	t	3.3	3.3	-	3.3
1-プロモプロパン	t	3.5	3.3	0.2	3.5
ノルマル-ヘキサン	t	38.0	1.5	0.5	1.9
ベンゼン	t	25.3	17.9	-	17.9
ほう素化合物	t	200.8	10.0	2.5	12.4
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	t	10.6	3.8	0.17	4.0
ポリ(オキシエチレン)＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム	t	4.9	3.0	-	3.0
ホルムアルデヒド	t	1.5	0.7	0.03	0.7
マンガン及びその化合物	t	12.2	11.0	-	11.0
メチルナフタレン	t	308.1	1.5	-	1.5
メチルピンス(4,1-フェニレン)＝ジイソシアネート	t	2.0	-	0.2	0.2
合計	t	4459	655	191	845

・集計範囲は王子グループ(連結子会社)のPRTR届出対象事業者。

・ダイオキシン類を除き、取扱量(発生量含む)1t以上(特定第一種指定化学物質は0.5t以上)の対象化学物質について掲載。

・「-」は排出・移動なし。

・合計は小数第1位で四捨五入。

国内環境会計(2016年度)

単 位: 百万円

環境保全コスト				
分 類	主な取組の内容	投資額	費用額	
(1) 生産・サービス活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト		3,786	19,017	
内 訳	①環境保全管理コスト	大気汚染・水質汚濁・騒音・振動対策等	1,120	11,144
	②地球環境保全コスト	国内社有林保育、海外植林事業、省エネルギー投資	1,216	343
	③資源循環コスト	資源の効率的利用、廃棄物対策費用	1,451	7,530
(2) 生産・サービス活動に伴って上流又は下流で生じる環境負荷を抑制するためのコスト	低硫黄燃料購入費用(差額)	0	296	
(3) 管理活動における環境保全コスト	従業員教育、ISO14001費用、大気、水質等の分析費用、各種会議運営費等	1	887	
(4) 研究開発活動における環境保全コスト	古紙利用促進等の環境保全に資する製品開発、製造段階における環境負荷の抑制等	566	2,099	
(5) 社会活動における環境保全コスト	社会貢献活動、団体支援、企業行動報告書、エコプロダクツ等	0	63	
(6) 環境損傷に対応するコスト	汚染負荷量賦課金(SO _x)	0	583	
合 計		4,353	22,945	

環境保全対策等に伴う経済効果	
効果の内容	金 額
国内社有林収入	250
省エネルギーによる費用削減	2,353
リサイクルにより得られた収入額	2,793
合 計	5,395

●環境省より公表されているガイドライン等の環境会計に関する資料を参考に集計しています。

●集計範囲：王子ホールディングス、王子製紙、王子マテリア、王子エフテックス、王子イメージングメディア、王子ネピア、王子コーンスターチ、王子タック、王子コンテナ、森紙業グループ、王子グリーンリソース、王子木材緑化